

## 国土交通大臣賞

受賞者名

大林・伊藤・岩田地崎・丸彦渡辺・中山・田中共同企業体  
北洋大通りJV工事事務所

所在地

北海道札幌市

受賞テーマ

北洋大通センター新築工事におけるゼロエミッション活動の展開

札幌駅前通と大通公園の交差点部に新たなランドマークとなる大規模複合ビルを建築する同工事では「リサイクル率97%以上」、「最終処分量 2.0 kg/m<sup>2</sup>以下」を目標に、総合的な3R活動に取り組み、「リサイクル率 97.19%」、「最終処分量 0.31 kg/m<sup>2</sup>」を達成した。

また、北海道環境生活部を事務局とする「北海道循環資源利用促進協議会」の中に同工事のゼロエミッション化ワーキンググループを設置し、工事関係者と行政が連携・協力して3R推進に取り組んだことも特筆される。

### <リデュース（発生抑制）>

- ①蛍光灯の個別梱包を取りやめ、特注の通い箱による搬入を採用
- ②ACW 工事をユニット化し、特注の専用台車で搬入することで養生材を削減
- ③空調、衛生設備の配管工事では、工場であらかじめ配管類を組み立てることで配管養生材等を削減
- ④地下ピット躯体工事では、通常の木製型枠に替えて型枠兼用断熱材を使用し、木くずの発生を抑制

### <リユース（再使用、再利用）>

- ①耐火被覆工事で発生する副産物（落ち岩綿）を層間塞ぎ材として再利用
- ②断熱工事で発生する副産物（グラスウール端材）を遮音間仕切の充填材として再利用
- ③事前に解体された旧北海道拓殖銀行ビルの大理石、金庫扉を当工事で新築する建物のモニュメントに再利用

### <リサイクル（再資源化）>

- ①石膏ボード、断熱材、シーリング容器は広域認定制度を活用し、100%再資源化
- ②コンクリート打設工事で発生するコンクリート汚泥を脱水・分級し、ドライモルタル、砂、砂利にリサイクル
- ③現場内に廃棄物の荷卸・分別を一元管理する物流センターを設置し、廃棄物の収集・分別を効率化、等



型枠兼用断熱材



蛍光灯ランプ通い箱



解体した銀行の金庫扉をモニュメントとして再利用